

貴社のシステム LSI に当社 IP をご提供します。←

名称	MH/MR/MMR 圧縮コア	形式	TTMXE15
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ITU-T T. 4/T. 6 (MH/MR/MMR) に準拠した 2 値画像のロス圧縮処理を実行。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライン毎の符号バイトバウンダリ処理の ON/OFF を設定可能</li> <li>・ 圧縮処理終了後のパット・ビット挿入の ON/OFF を設定可能</li> <li>・ 圧縮処理終了後のパット・ワード挿入の ON/OFF を設定可能</li> <li>・ 主走査画素数は、32~65520 画素の範囲で 1 画素単位の設定が可能。</li> <li>・ 副走査処理ライン数は、1~262143 ラインの範囲で 1 ライン単位の設定が可能。</li> <li>・ 入出力データは、Little Endian に固定。</li> </ul> </li> <li>○ 1 クロックで 1 変化点の圧縮処理が可能。 また、1 ワード (16 画素) 内に変化点がない場合、1 クロックで 16 画素の圧縮処理が可能。 0.18μ ASIC ライブラリで 75Mpixel/sec (CLK の周波数=75MHz、ワーストケース) が実現可能。</li> <li>○ 回路規模は、約 20K ゲート。 また、コア外部に参照ライン画像データ格納用の 2 ポート RAM (16×4096word) が必要。</li> </ul>		
用途	FAX、デジタルコピー、プリンター		

TTMXE15 の概略構成図

